

## 研修報告書

焼津市議会議長 様

議員氏名 秋山博子

令和 5 年 5 月 24 日 下記のことについて、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	「福島原発震災情報センター 被災地スタディツアー」
研修の目的	3.11 東日本大震災・福島原発事故から 12 年になる。被災地を巡り、震災遺構を訪ね、複合災害への防災・減災を学びたい。*5/24 朝 8 時バスツアー開始のため前泊
所 感	<p>原子力災害考証館・里見喜生館長のガイドで、①震災遺構「浪江町立請戸小学校」②双葉町「原子力災害伝承館」③富岡町「とみおかアーカイブミュージアム④第二原発・富岡漁港・夜ノ森（車窓）⑤楡葉町「宝鏡寺「伝言館」」など、いずれも訪ねてみたかった遺構であり、資料館であり、町であった。</p> <p>① 請戸小学校は沿岸部にあり被災した当時の凄まじい破壊の様子をそのまま残している。児童たちは全員避難して助かった奇跡の小学校である。津波は真っ黒な水が巨大な壁になってものすごいスピードで襲ってくるのだと聞く。その破壊力を見せつけられた。</p> <p>② ③双葉町と富岡町の二つの資料館を訪ねる。パネル、津波に巻き込まれ破壊されたパトカー（乗っていた警察官は未だ行方不明と聞いた）、シアターなど、見応えがある。</p> <p>④ 帰還困難区域の町並みでは、今も住人の帰りを待っているかのように、窓に洗濯物が干されていたり、子どもの自転車が並んでいたりする。人が消えた町に草木だけが旺盛に伸びている。</p> <p>⑤伝言館は「ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ・フクシマ 伝言館」と名付けられているように、ビキニ事件の展示もある。ちょうど館長がいらして話をすることが出来た。忘れられてしまうことはなかったことと同じになり、その教訓も風化してしまう。</p>
今後の参考となる事項	<p>●請戸小学校&gt;避難訓練を体に覚えさせるほど何度でも繰り返して実施することを忘れていないだろうか。焼津では津波避難施設が整備されつつあることから、津波は大丈夫という空気が広がっているのではないか。今、発災したら！と考えることをクセつける工夫が必要。</p> <p>●震災遺構&gt;保存が被災自治体の大きな課題になっている。遺族の方々は見ただけでも辛いと感じる。乗り越えてくれとはとても言えないけれど、例えば広島の前爆ドームがあるとならばどうだったのかなど、考えさせられる。焼津がビキニ事件をどう伝えていくか。負の歴史ではなく、世界的な平和運動のきっかけになったというもう一つの歴史に光を当てて誇りを持って伝えることはできないだろうか。そういう時代だと思う。</p>

\* 上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。

\* 参考資料等がある場合は、添付してください。

**福島原発震災情報連絡センター 第13回総会&被災地スタディツアー**

日程 5月23日(火)~24日(水) 会場 いわき湯本温泉古滝屋、双葉郡内

## ◆内容

**【5月23日】総会&研修** 11:00~12:00 事務局会議(事務局スタッフのみ)

13:00 受付開始

13:30~14:50 総会

15:00~17:30 研修

(1) 報告: 汚染水海洋放出と福島の漁業

柳内孝之さん(小名浜機船底引網漁業協同組合): 80分(60分+質疑15分)

(2) 報告: たらちねから一大熊町立学び舎夢の森の開校・海洋調査・福島第一原発の歴史  
木村亜衣・大森透恵さん(いわき放射能市民測定室): 80分(60分+質疑15分)

18:00~20:00 夕食懇親会

**【5月24日】スタディツアー**

8:00~15:00 浪江町、双葉町、富岡町、楡葉町の視察(マイクロバス)

\*ガイド: 里見喜生さん(原子力災害考証館館長)

古滝屋 8:15 出発 → 請戸小学校 9:30 着 → 伝承館 10:00 着 10:30 発 →

富岡アーカイブ 11:00 着 11:30 発 → 第二原発、富岡漁港、夜ノ森(車窓) →

【昼食】海鮮四季工房きむらや(1,500円) TEL 0240-25-2054 12:15~13:00 →

伝言館 13:15 着 13:45 発 → 国道6号線(道の駅よつくら港) → 湯本駅 15:00 着

- ・浪江町:「震災遺構 浪江町立請戸小学校」一沿岸部で津波被害にあい、全員避難した奇跡の学校。
- ・双葉町:「東日本大震災・原子力災害伝承館」一福島県設立の福島イノベーション・コースト構想推進機構が管理運営。政府、東京電力、福島県の責任や教訓の展示が不十分との批判が多い。
- ・富岡町:「とみおかアーカイブ・ミュージアム」一複合災害による地域の変化の伝承施設。  
シアター映像や町民証言記録、原発事故の経験・教訓を伝える特別展、収蔵展示。
- ・楡葉町:宝鏡寺「伝言館」一原発事故の教訓を伝える施設。1階説明パネル約100点を展示。  
地階は広島、長崎資料、第五福竜丸。同館脇に「非核の火」。

## ◆費用

- 1、1泊2食・消費税・入湯税・会議室使用料込み 15,000円  
(各自が宿のフロントで支払い、領収書をもらってください)
- 2、研修会受付で徴収します。  
①当日研修費 500円 ②バス研修費 2,500円  
③年会費 3,000円(但し書きは「機関紙購読料」に統一) 計 6,000円
- 3、合計 21,000円

## ◆申し込み締切: 5月10日厳守! 以下の内容に記入し、MLに返信して下さい。

- お名前 ( )
- 自治体名 ( )
- 住所 (〒 )
- 電話(なるべく携帯番号: )
- メールアドレス ( )
- 申し込み内容 (A, B, Cから選び、他は削除してください)
  - ・Aコース 【23日】宿泊(夕食と朝食付き) 【24日】バスツアー
  - ・Bコース 【23日】研修のみ
  - ・Cコース 【24日】バスツアーのみ